

## 青森県内の消費生活相談受付状況（令和6年4月～6月）のポイント

### 【相談全体に関して】

- 令和6年4～6月の消費生活相談件数は計 2,053 件で、前年同期と比較して 69 件の減少（減少率 3.3%）となっています。
- うち特殊詐欺の相談は計 189 件で、前年同期と比較し 7 件（3.6%）減少しました。これは、フィッシング詐欺の相談が減少したことなどが主な要因となっています。

### 【特徴・変化】

#### ① 高齢者からの相談件数はほぼ横ばい

- ・ 65歳以上の高齢者からの相談件数 756件（前年同期比▲2件、減少率0.3%）
- ・ 相談全体に占める割合 36.8%（←前年同期35.7%）

#### ② 各年代の相談状況

- ・ 20歳未満からの相談件数 45件（前年同期比▲4件、減少率8.2%）  
件数が多い相談：教養・娯楽サービス（インターネットゲームやアダルトサイトなど）
- ・ 20代からの相談件数 156件（前年同期と同数）  
件数が多い相談：金融・保険サービス（融資サービス、他の金融関連サービスなど）
- ・ 30代からの相談件数 151件（前年同期比▲6件、減少率3.8%）  
件数が多い相談：金融・保険サービス（融資サービス、他の金融関連サービスなど）
- ・ 40代からの相談件数 243件（前年同期比▲4件、減少率1.6%）  
件数が多い相談：金融・保険サービス（融資サービス、他の金融関連サービスなど）
- ・ 50代からの相談件数 339件（前年同期比▲30件、減少率8.1%）  
件数が多い相談：商品一般（フィッシング詐欺、架空請求詐欺など）
- ・ 60代からの相談件数 390件（前年同期比▲21件、減少率5.1%）  
件数が多い相談：保健衛生品（化粧品、医薬品など）
- ・ 70代以上からの相談件数 558件（前年同期比▲5件、減少率0.9%）  
件数が多い相談：商品一般（フィッシング詐欺、架空請求詐欺など）

#### ③ 特殊詐欺のうち、FX・暗号資産などの投資詐欺に関する相談が増加

- ・ 特殊詐欺に関する相談件数 189件（前年同期比▲7件、減少率3.6%）
- ・ 相談全体に占める特殊詐欺の割合 9.2%（前年同期と同率）
- ・ 特殊詐欺のうち、投資詐欺相談件数 49件（前年同期比+16件、増加率48.5%）

#### ④ 定期購入に関する相談が増加

- ・ 定期購入（化粧品・健康食品等） 232件（前年同期比+18件、増加率8.4%）

#### ⑤ 副業に関する相談が増加

- ・ 副業（登録料を支払ったが稼げない等） 67件（前年同期比+13件、増加率24.1%）

# 令和6年4-6月における青森県内の消費生活相談状況

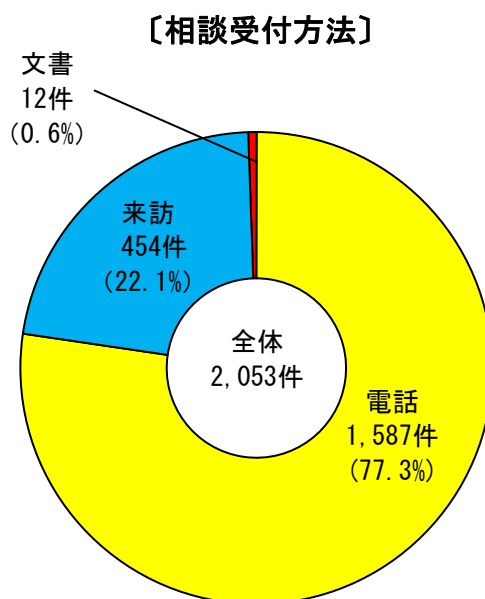
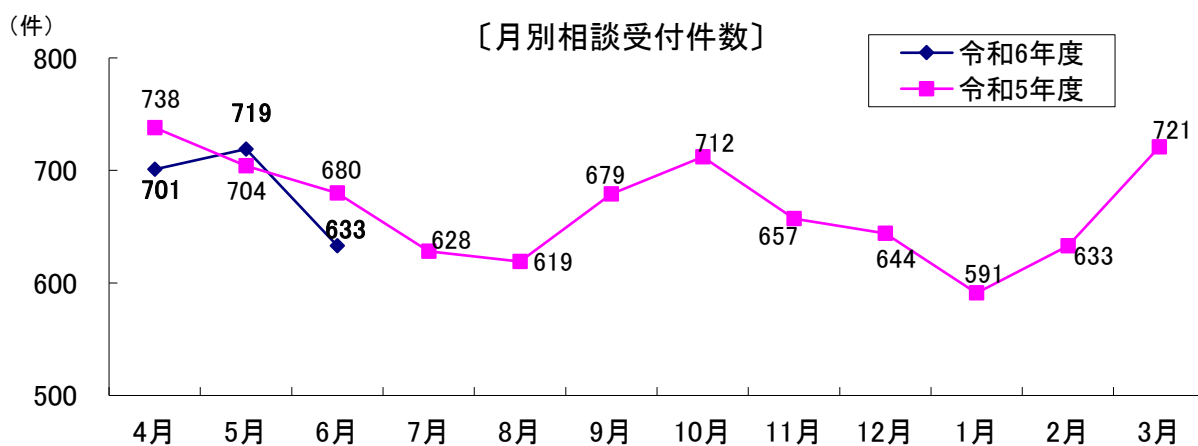
## 1 相談状況

### (1) 概況

令和6年4-6月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、2,053件（苦情相談1,719件、問合せ334件であり、前年同期と比較して69件（3.3%）減少しています。

（単位：件）

項目	年度	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
苦情		1,719	1,798	▲79	95.6%
問合せ		334	324	10	103.1%
計		2,053	2,122	▲69	96.7%

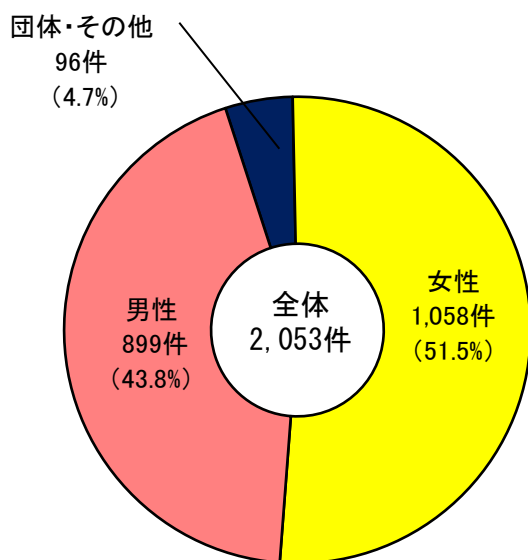


## (2) 契約当事者の状況

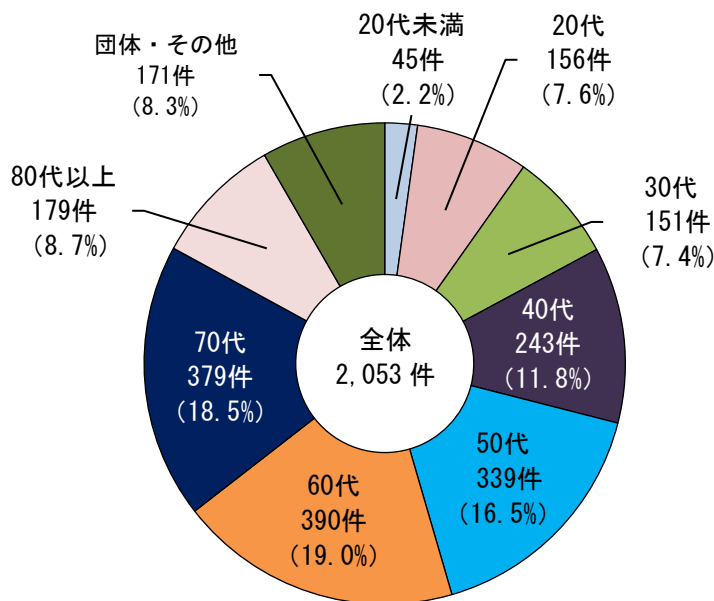
契約当事者を性別で見ると、女性が1,058件で、全体の51.5%を占めています。年代別では、60代が390件(19.0%)と最も多く、次いで70代が379件(18.5%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、無職が783件(38.1%)と最も多く、次いで給与生活者が781件(38.1%)となっています。

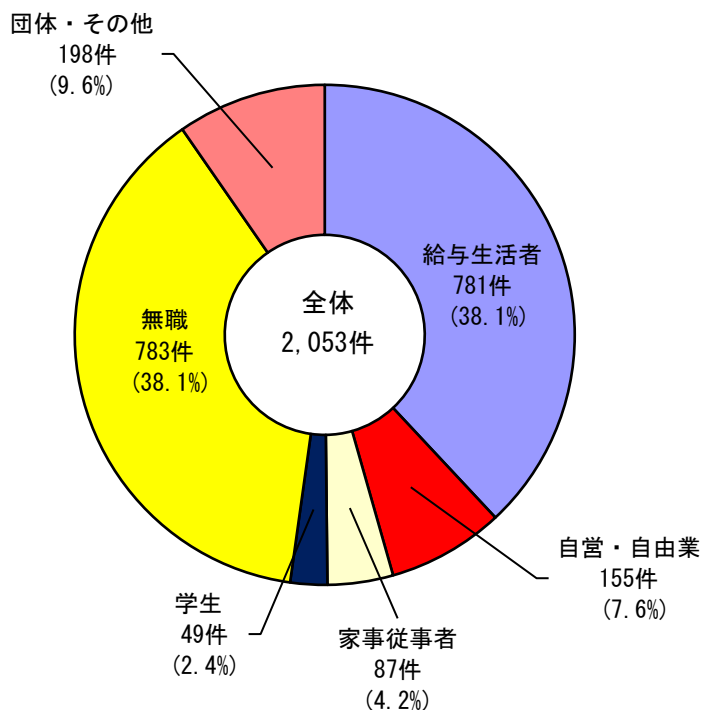
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



### (3) 主な商品・役務別の相談状況

(単位：件)

	商品・役務名	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
1	商品一般	299	292	7	102.4%
2	金融・保険サービス	224	182	42	123.1%
3	保健衛生品	183	187	▲4	97.9%
4	運輸・通信サービス	173	186	▲13	93.0%
5	食料品	154	151	3	102.0%
	その他	1,020	1,124	▲104	90.7%
	計	2,053	2,122	▲69	96.7%

※商品役務別の詳細は P17 商品・役務別内訳表参照

#### 1 「商品一般」

令和6年4-6月の相談件数は299件で、前年同期より7件(2.4%)増加しています。商品一般は、商品が多岐にわたる相談や、商品を特定できない相談が分類されます。また、「消費料金」等の債務内容が不明な架空請求の相談や宅配業者等を騙るフィッシング詐欺に関する相談が含まれています。

#### 2 「金融・保険サービス」

令和6年4-6月の相談件数は224件で、前年同期より42件(23.1%)増加しています。最も多いのは、融資サービスに関する相談の128件で、前年同期98件から30件(30.6%)増加しています。次いで、クレジットカードの入退会に関する相談や暗号資産やFXの投資に関する相談が含まれる他の金融関連サービスに関する相談が多くなっています。

#### 3 「保健衛生品」

令和6年4-6月の相談件数は183件で、前年同期より4件(2.1%)減少しています。化粧品に関する相談が146件で全体の79.8%を占めています。保健衛生品のうち、144件は定期購入に関する相談となっており、前年同期134件より10件(7.5%)増加しています。

#### 4 「運輸・通信サービス」

令和6年4-6月の相談件数は173件で、前年同期より13件(7.0%)減少しています。最も多いのは、インターネット通信サービスに関する相談の74件で前年同期68件から6件(8.8%)増加しています。また、固定電話に関する相談は43件で前年同期42件より1件(2.4%)増加しています。総務省等を騙って、「あと2時間で電話が使えなくなる」という自動音声が出る不審な電話に関する相談が増加したことが要因と考えられます。

#### 5 「食料品」

令和6年4-6月の相談件数は154件で、前年同期より3件(2.0%)増加しています。最も多いのは、健康食品の102件で、前年同期96件より6件(6.3%)増加しています。健康食品のうち、75件は定期購入に関する相談となっており、前年同期58件より17件(29.3%)増加しています。

#### (4) 契約当事者年代別商品・役務相談状況（上位3位）

契約当事者の年代別の商品・役務別上位3位は以下の表のとおりとなっています。20歳未満では、教養・娯楽サービスが1位になっています。その内訳を見ると、インターネットゲームやアダルト情報の相談が主となっています。20代、30代、40代では、融資サービスなどの金融・保険サービスが1位になっています。

50代、70代、80代以上は、不審な電話やメールなどの商品一般が1位となっています。60代は、化粧品の定期購入などの保健衛生品に関する相談が1位となっています。

(単位：件)

	1		2		3	
20歳未満	教養・娯楽サービス	17	商品一般	6	食料品	6
20代	金融・保険サービス	29	教養・娯楽サービス	16	他の役務	14
30代	金融・保険サービス	23	教養娯楽品	16	教養・娯楽サービス	15
40代	金融・保険サービス	43	運輸・通信サービス	25	教養・娯楽サービス	19
50代	商品一般	47	保健衛生品	42	金融・保険サービス	31
60代	保健衛生品	62	商品一般	57	金融・保険サービス	36
70代	商品一般	68	運輸・通信サービス	55	食料品	36
80代以上	商品一般	34	食料品	27	運輸・通信サービス	15
その他・不明	商品一般	47	他の役務	22	金融・保険サービス	17

#### (5) 相談に係る契約等の既払金額

令和6年4-6月の相談に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数は減少しましたが、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払金額は大幅に増加しています。

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
お金を支払った人の数	520	527人	▲7人	98.7%
既払金額合計	452,992千円	191,035千円	261,957千円	237.1%
平均既払金額（一人当たり）	871千円	362千円	509千円	240.6%
最大既払金額	40,000千円	20,390千円	19,610千円	196.2%

## 2 消費生活相談における特殊詐欺の状況

### (1) 概況

令和6年4-6月の特殊詐欺に関する相談件数は189件で、前年同期より7件（3.6%）減少しています。類型別にみると、フィッシング詐欺が55件（相談件数の29.1%）と最も多く、次いで振り込め詐欺の54件（相談件数の28.6%）、FX・暗号資産などの投資詐欺の49件（同25.9%）となっています。

(単位：件)

類 型	年 度	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増 減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
フィッシング詐欺		55	62	▲7	88.7%
振り込み詐欺		54	58	▲4	93.1%
	架空請求詐欺	48	50	▲2	96.0%
	還付金詐欺	2	8	▲6	25.0%
	融資保証金詐欺	3	0	3	-
	オレオレ詐欺	1	0	1	-
F X・暗号資産などの投資詐欺		49	33	16	148.5%
ワンクリック詐欺		12	11	1	109.1%
ウイルス感染の偽警告（サポート詐欺）		12	13	▲1	92.3%
出会い系サイト・アプリ		7	11	▲4	63.6%
老人ホームの入居権詐欺		0	8	▲8	-
合 計		189	196	▲7	96.4%

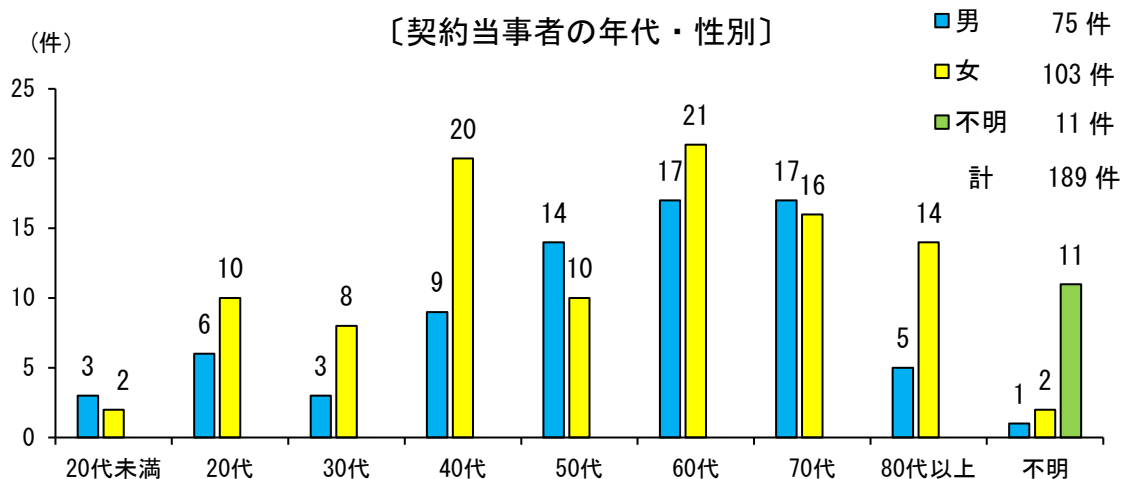
なお、それぞれの特殊詐欺の類型と、消費生活相談において分類される主な商品・役務名との対応関係は以下のとおりです。

#### (参考) 主な商品・役務別分類（P4）との対応状況

類型		主な商品・役務名
振り込み詐欺	架空請求詐欺	商品一般、運輸・通信サービス
	還付金詐欺	保健・福祉サービス
	融資保証金詐欺	金融・保険サービス
	オレオレ詐欺	相談その他
フィッシング詐欺		教養・娯楽サービス
F X・暗号資産などの投資詐欺		金融・保険サービス、教養・娯楽サービス
ワンクリック詐欺		教養・娯楽サービス、他の役務
ウイルス感染の偽警告（サポート詐欺）		他の役務、教養・娯楽サービス
出会い系サイト・アプリ		教養・娯楽サービス
老人ホームの入居権詐欺		保健・福祉サービス

#### (2) 特殊詐欺に係る当事者の状況

令和6年4-6月における特殊詐欺に係る当事者を年代・性別で見ると、60代女性が21件で最も多く、次いで40代女性の20件となっています。



### (3) 特殊詐欺に係る既払金額

令和6年4-6月の特殊詐欺に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額は大幅に増加しましたが、最大既払額は減少しています。

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増 減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
お金を支払った人の数	47人	30人	17人	156.7%
既払金額合計	87,152千円	37,864千円	49,288千円	230.2%
平均既払金額(一人当たり)	1,854千円	1,262千円	592千円	146.9%
最大既払金額	10,000千円	10,080千円	▲80千円	99.2%

## 3 相談全般における特徴

### (1) 定期購入に関する相談が増加

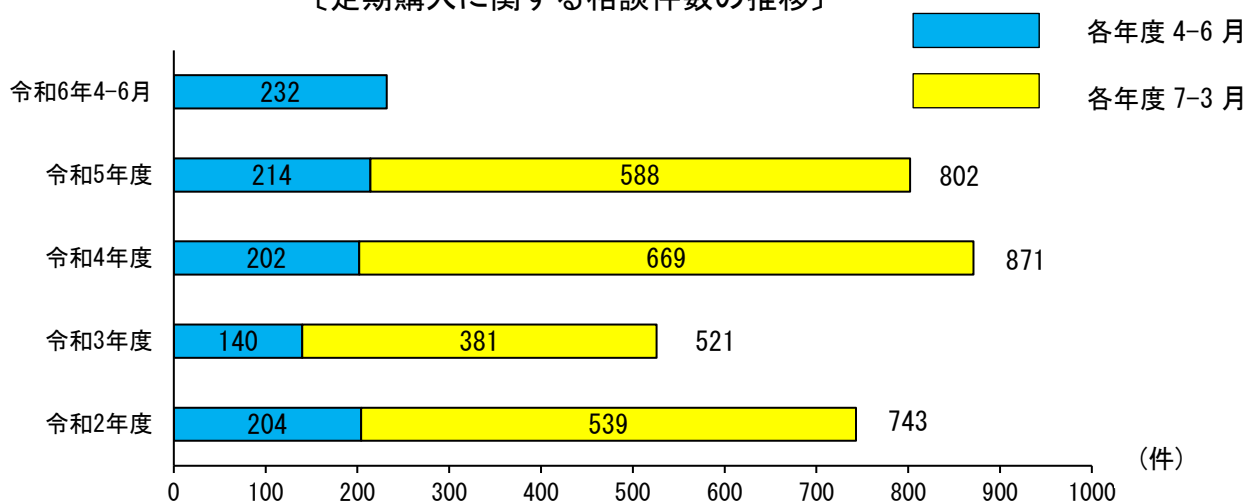
令和6年4-6月の定期購入に関する相談は232件で、前年同期より18件(8.4%)増加しました。過去5年間の相談件数を見ると、令和6年4-6月が最も多くなっていることがわかります。

また、対象となる商品は化粧品が最も多い129件で、前年同期より2件(1.6%)増加、次いで健康食品が75件で、前年同期より17件(29.3%)増加しています。

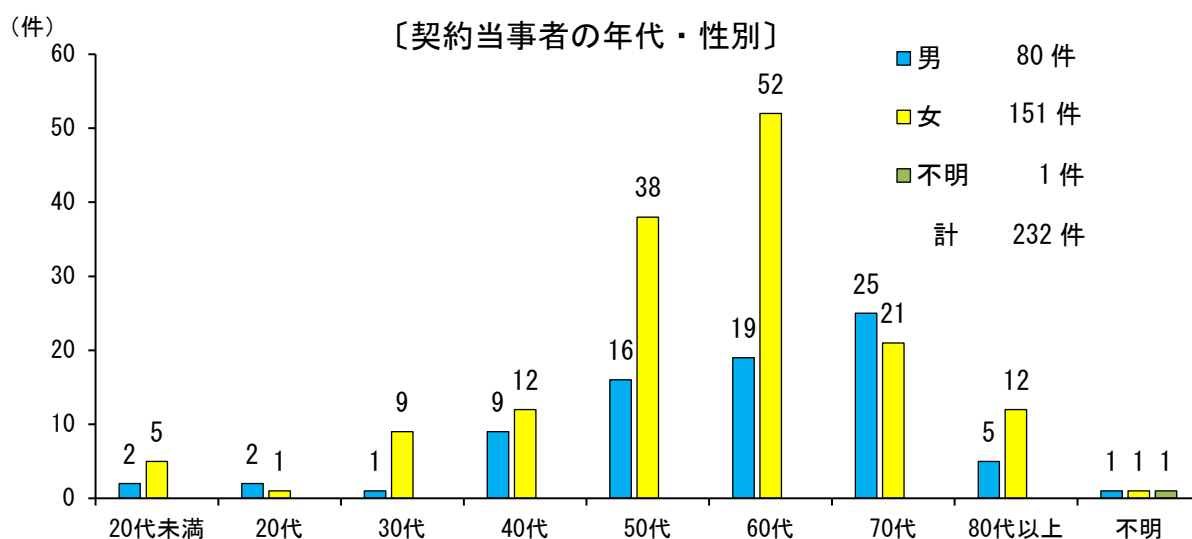
(単位：件)

商品・役務名		令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増 減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
1	化粧品	129	127	2	101.6%
2	健康食品	75	58	17	129.3%
3	医薬品	11	3	8	366.7%
	その他	17	26	▲9	65.4%
計		232	214	18	108.4%

〔定期購入に関する相談件数の推移〕



契約当事者の年代・性別でみると、60代女性が52件と最も多く、次いで50代女性が38件となっています。性別では、女性が151件と、全体の65.1%を占めています。



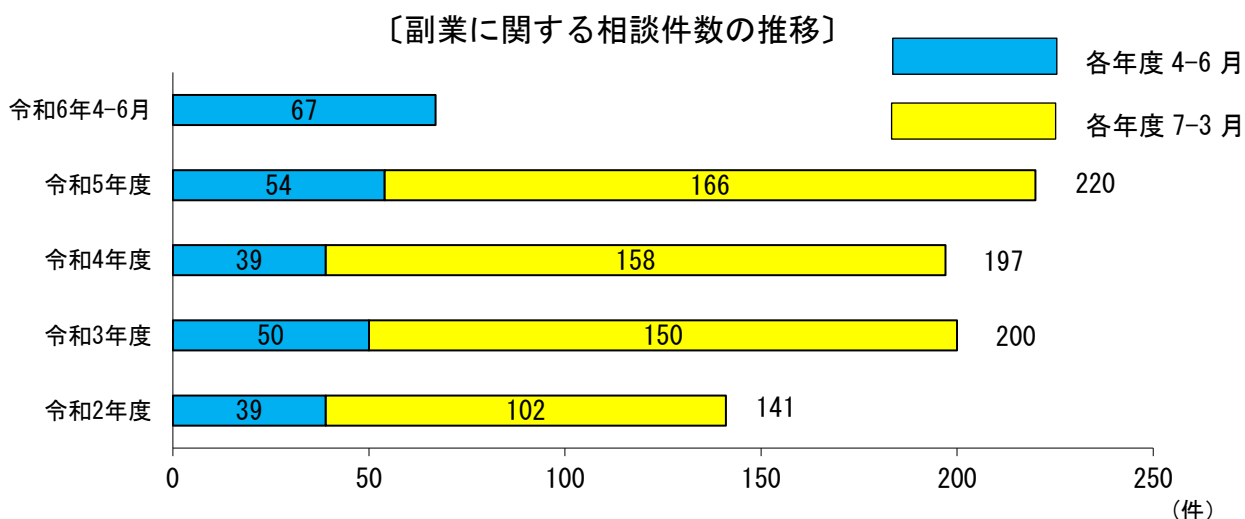
## (2) 副業に関する相談が増加

令和6年4-6月の副業に関する相談は67件で、前年同期より13件(24.1%)増加しました。過去5年間の相談件数の推移を見ると、令和6年4-6月が最も多くなっていることがわかります。

収入を得るためのマニュアルの購入費用やサポート費用など様々な名目で請求される費用を、消費者金融から借りて支払うよう強要されたものの、全く収入を得ることができず債務整理をする事態に陥った事例も少なくありません。

(単位：件)

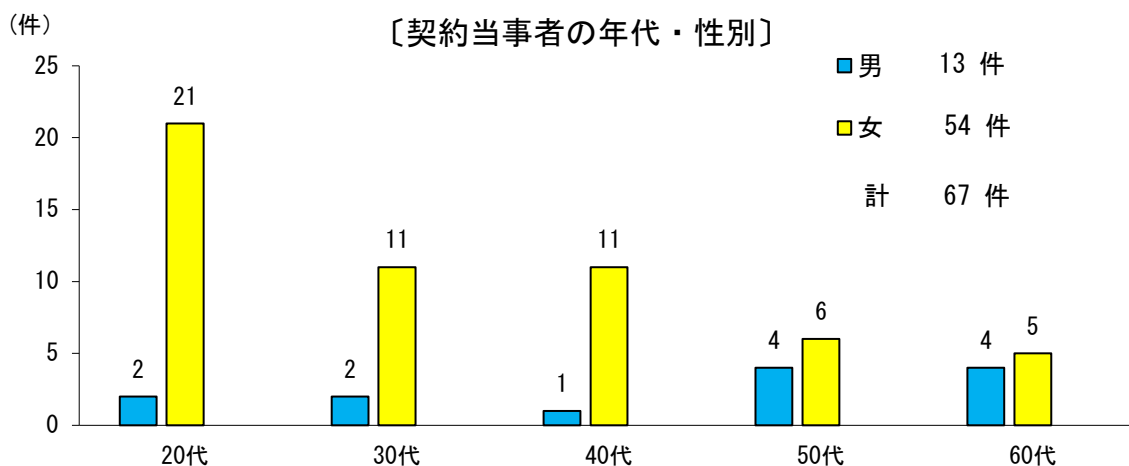
	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
相 談 件 数	67	54	13	124.1%





契約当事者の年代・性別の特徴を見ると、20代女性の21件が最も多く、次いで30代女性と40代女性がそれぞれ11件となっています。20代以下（今回は20代未満はなし）が全体の34.3%を占めていますが、前年同期には50.0%を占めていたことから、20代以下が占める割合が減少しました。

一方、性別では、女性が54件と全体の80.6%を占めています。



副業に関する相談に係る既払金額を見ると、お金を払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払金額とも増加しており、被害が深刻化していることがわかります。

背景には、遠隔操作ソフトなどをインストールさせたうえで、消費者金融から限度額いっぱいまで借入れをして支払わせる手口が多くなっていることなどが考えられます。

(単位：件)

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
お金を支払った人の数	36人	24人	12人	150.0%
既払金額合計	26,957千円	15,853千円	11,104千円	170.0%
平均既払金額 (一人当たり)	749千円	661千円	88千円	113.3%
最大既払金額	3,000千円	2,500千円	500千円	120.0%

### (3) 18歳・19歳の相談状況

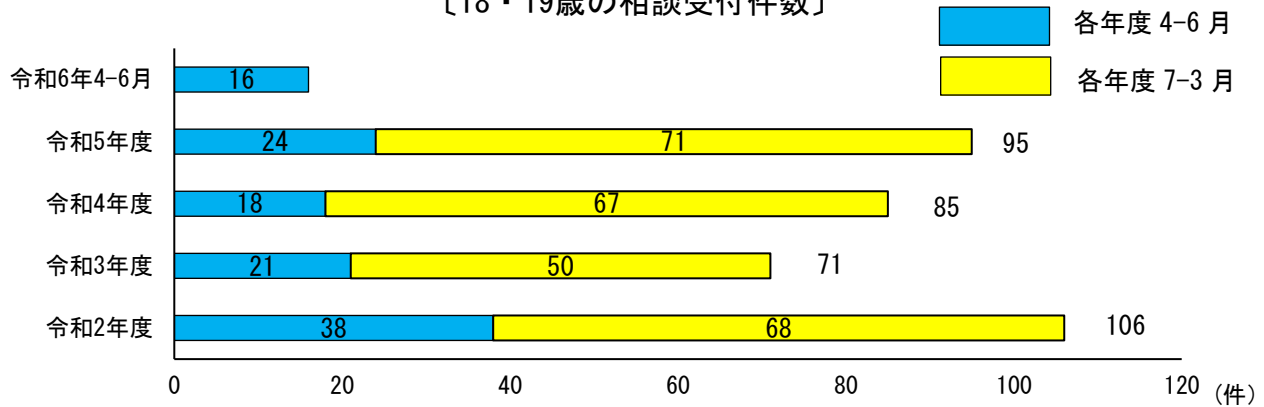
#### ① 概況

令和4年4月1日から改正民法が施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。これに伴い、これまで未成年者取消権により、契約の取消しが可能だった、18歳・19歳の契約に関するトラブルが懸念されることから、この年代の相談状況に注目しています。

令和6年4-6月の18歳・19歳の相談件数は16件で、前年同期より8件(33.3%)減少しています。

過去5年間の18歳・19歳の相談件数を見ると、増加と減少を繰り返していることがわかります。

〔18・19歳の相談受付件数〕



## ② 18・19歳の主な商品・役務別の相談状況

令和6年4-6月の18歳・19歳の相談では、不審なメールや身に覚えのないクレジットカードの請求などの商品一般に関する相談が4件と最も多くなりました。次いで多いのは、生命保険や投資詐欺などの金融・保険サービスに関する相談となっています。

(単位：件)

	商品・役務名	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
1	商品一般	4	3	1	133.3%
2	金融・保険サービス	3	0	3	-
3	食料品	2	1	1	200.0%
	レンタル・リース・貸借	2	4	▲2	50.0%
	教養・娯楽サービス	2	2	0	100.0%
	他の役務	2	0	2	-
	その他	1	14	▲13	7.1%
	計	16	24	▲8	66.7%

## 4 65歳以上の高齢者の状況

### (1) 全般

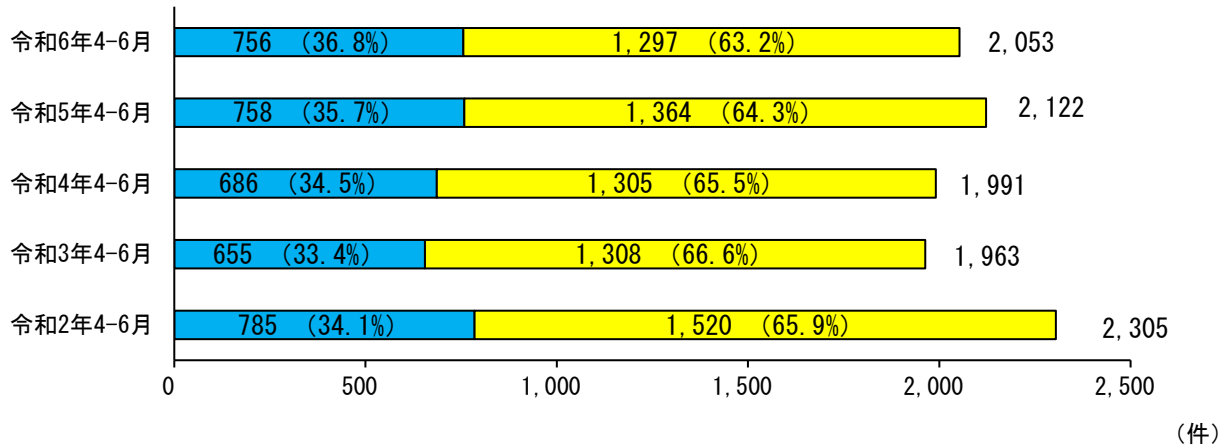
#### ① 概況

令和6年4-6月の高齢者の相談は756件で、前年同期と比較して2件(0.3%)減少しています。相談全体に占める割合は36.8%で前年同期の35.7%から1.1ポイント増加しています。

(単位：件)

項目	年度	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
苦情		607	638	▲31	95.1%
問合せ		149	120	29	124.2%
計		756	758	▲2	99.7%

〔高齢者の占める割合と相談件数の推移〕 ■65歳以上 ■65歳未満等



## ② 高齢者の主な商品・役務別の相談状況

令和6年4-6月の高齢者の相談では、不審な電話やメールなどの「商品一般」に関する相談が131件と最も多く、前年同期より15件（12.9%）増加しています。

次いで多いのは、運輸・通信サービスの82件で、前年同期と同数でした。光回線などのインターネット通信サービスに関する相談や、固定電話に関する相談が多くなっています。

次いで、保健衛生品の79件で、前年同期より10件（14.5%）増加しています。化粧品品の定期購入に関する相談が増加したことが主な要因となっています。

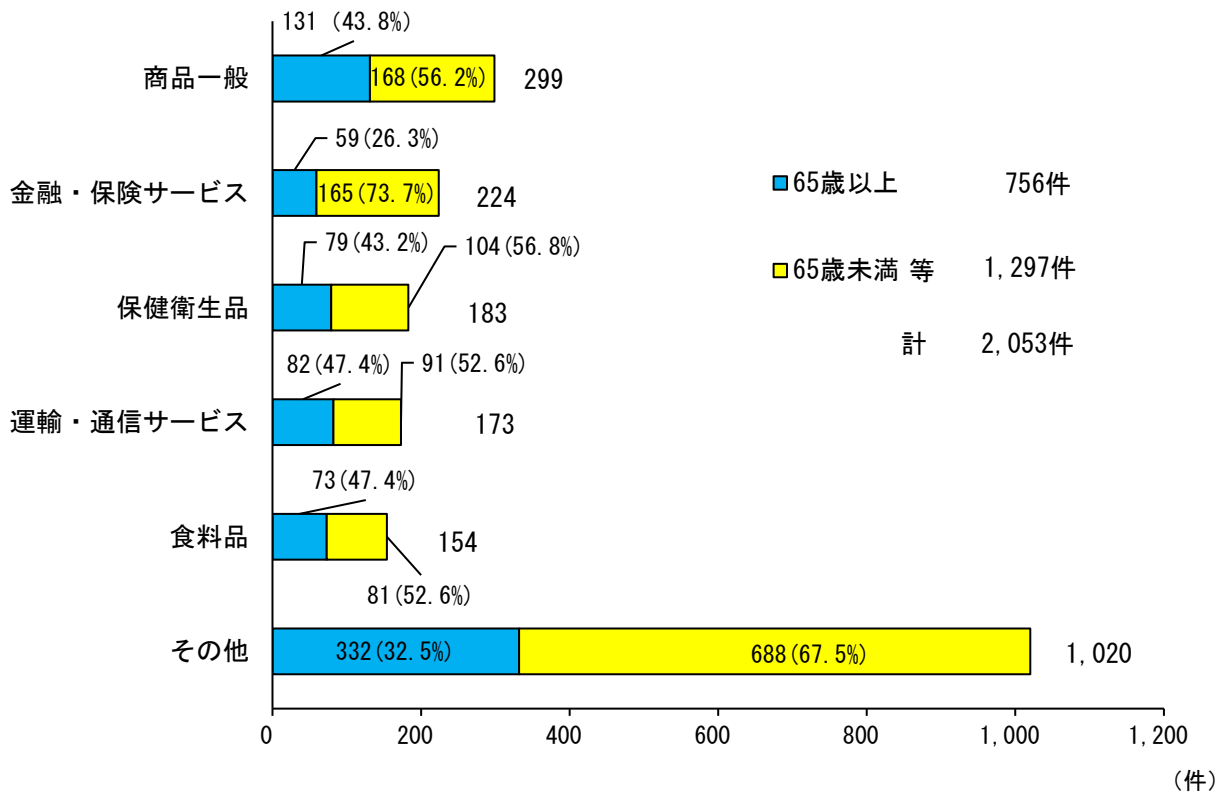
（単位：件）

	商品・役務名	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
1	商品一般	131	116	15	112.9%
2	運輸・通信サービス	82	82	0	100.0%
3	保健衛生品	79	69	10	114.5%
4	食料品	73	63	10	115.9%
5	金融・保険サービス	59	57	2	103.5%
	その他	332	371	▲39	89.5%
	計	756	758	▲2	99.7%

### 〔主な商品・役務別の相談に占める高齢者とそれ以外の割合〕

主な商品・役務別の相談に占める高齢者の割合をみると、「運輸・通信サービス」に関する相談と「食料品」に関する相談が同率で47.4%と最も高くなっています。通信関係の知識に乏しい高齢者に対し、固定電話のデジタル化により、光回線に変更しなければならないと言って光回線の契約をさせるインターネット接続回線に関する相談や固定電話に関する相談が多くなっています。

次いで、「商品一般」に関する相談が43.8%となっています。架空請求やフィッシングのほか、不審な電話やメールに関する相談などがありました。



### ③ 高齢者の相談に係る契約等の既払金額

高齢者の相談に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額とも大きく増加しています。

(単位：件)

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
お金を支払った人の数	158人	145人	13人	109.0%
既払金額合計	153,828千円	45,345千円	108,483千円	339.2%
平均既払金額(一人当たり)	974千円	313千円	661千円	311.2%
最大既払金額	40,000千円	10,080千円	29,920千円	396.8%

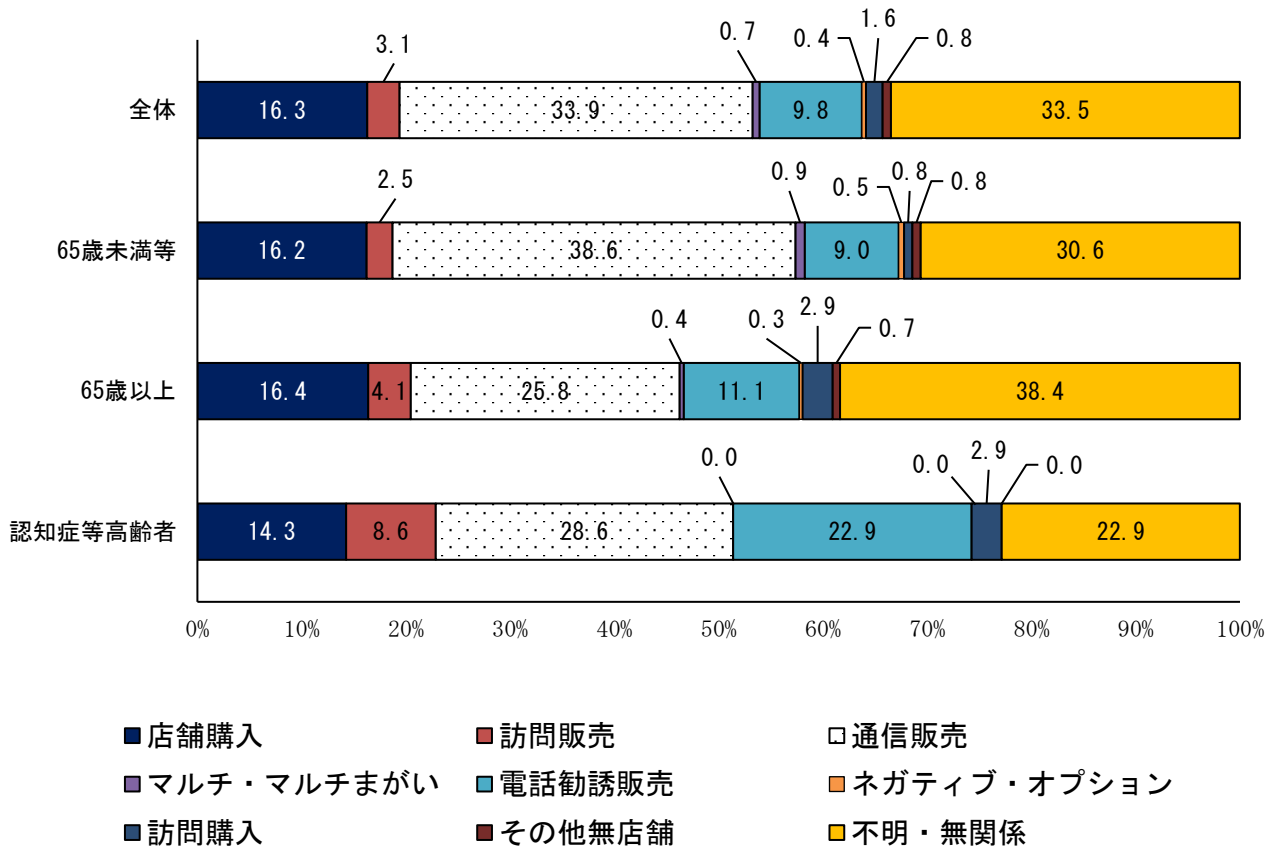
### ④ 販売購入形態別相談割合

販売購入形態別で見ると、65歳以上では、65歳未満等と比べて訪問販売や電話勧誘販売が多く、特に認知症等高齢者においてその傾向は顕著です。認知症等高齢者の判断力不足に乗じ、悪質な訪問販売や電話勧誘販売が行われていることがうかがえます。

その認知症等高齢者については、これまで多くを占めていた訪問販売や電話勧誘販売が減少する一方、通信販売が28.6%となり、前年同期(13.8%)よりも14.8ポイント増加しています。

その他、65歳以上で不明・無関係が多くなっているのは、還付金詐欺や不審な電話やメールの相談がここに分類されることも要因の一つとなっています。

〔販売購入形態別 相談割合 (%)〕



## (2) 高齢者の特殊詐欺の状況

### ① 概況

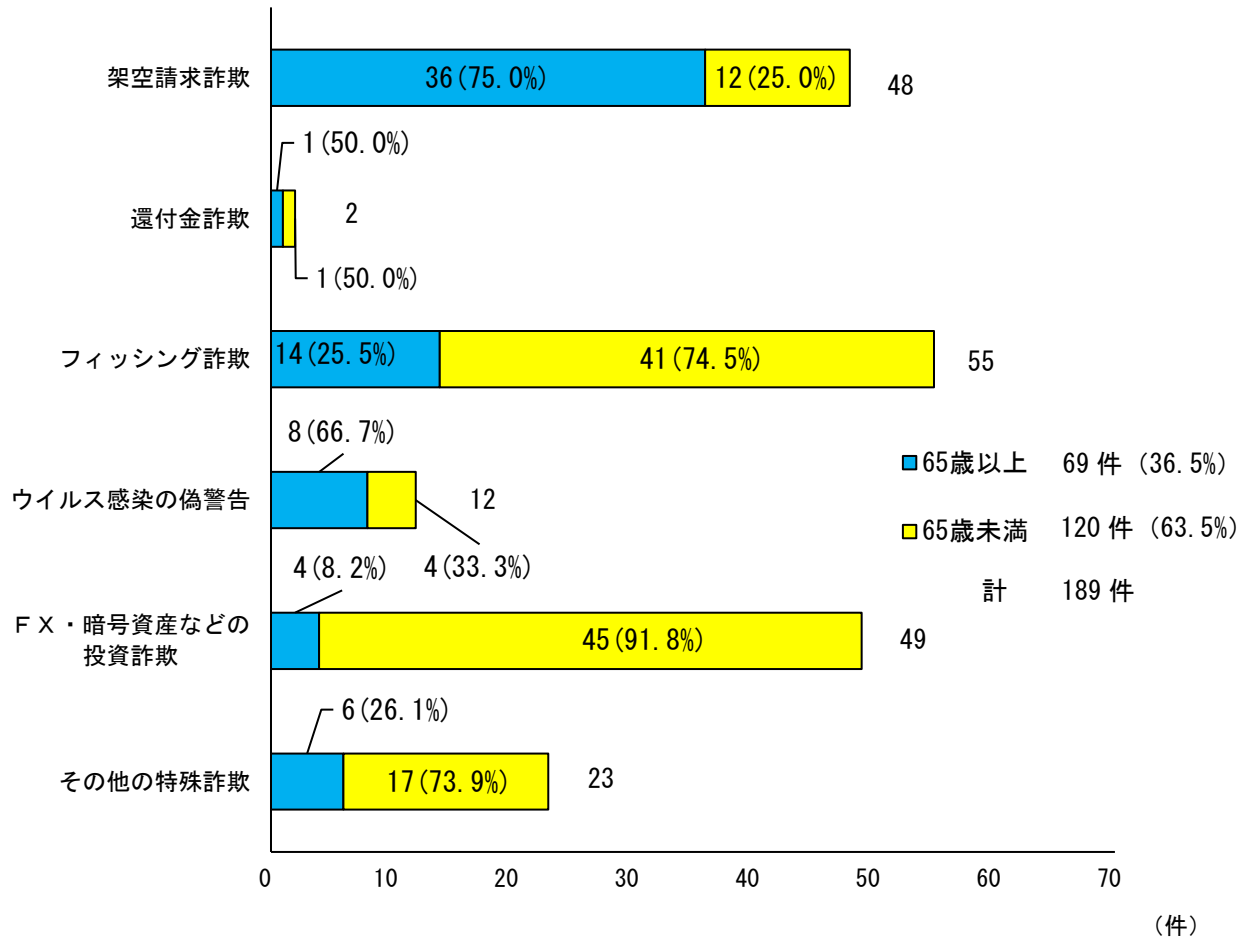
高齢者の特殊詐欺に関する相談件数は69件で、前年同期より8件(10.4%)減少しています。類型別にみると、振り込み詐欺が38件(相談件数の55.1%)と最も多く、次いでフィッシング詐欺の14件(同20.3%)となっています。

全体的に減少傾向にあるものの、ウイルス感染の偽警告(サポート詐欺)や架空請求詐欺など、増加傾向が見られる手口もありました。(単位:件)

類 型	年 度		増 減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)		
振り込み詐欺	38	33	5	115.2%
架空請求詐欺	36	31	5	116.1%
還付金詐欺	1	2	▲1	50.0%
融資保証金詐欺	0	0	0	-
オレオレ詐欺	1	0	1	-
フィッシング詐欺	14	20	▲6	70.0%
ウイルス感染の偽警告(サポート詐欺)	8	5	3	160.0%
FX・暗号資産などの投資詐欺	4	5	▲1	80.0%
出会い系サイト・アプリ	4	2	2	200.0%
ワンクリック詐欺	1	4	▲3	25.0%
老人ホームの入居権詐欺	0	8	▲8	-
合 計	69	77	▲8	89.6%

## ② 特殊詐欺類型別に占める高齢者の割合

特殊詐欺類型別に占める高齢者の割合は、架空請求詐欺が75.0%と最も高く、次いで、ウイルス感染の偽警告（サポート詐欺）が66.7%となっています。



## ③ 高齢者の特殊詐欺に係る既払金額

高齢者の特殊詐欺の相談に係る既払金額の状況をみると、お金を払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額は増加していますが、最大既払金額は減少しています。

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年比 (a/b)
お金を支払った人の数	7人	6人	1人	116.7%
既払金額合計	18,804千円	12,212千円	6,592千円	154.0%
平均既払金額 (一人当たり)	2,686千円	2,035千円	651千円	132.0%
最大既払金額	10,000千円	10,080千円	▲80千円	99.2%

## 5 多重債務に関する相談の受付状況

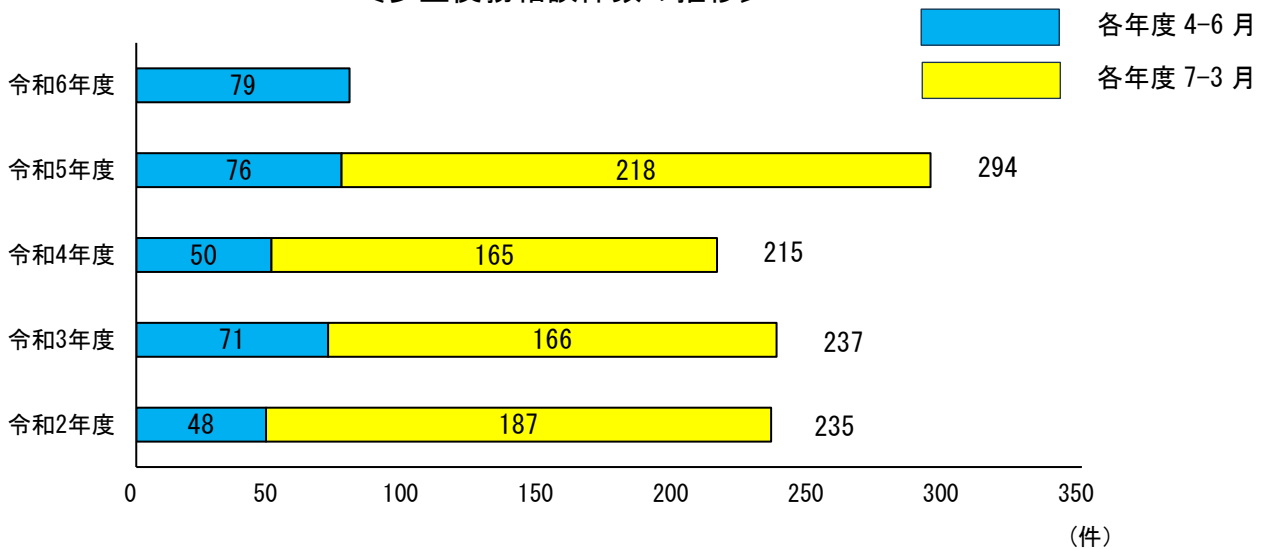
令和6年4-6月における多重債務に関する相談件数は79件で前年同期より3件(3.9%)増加しています。

(単位：件)

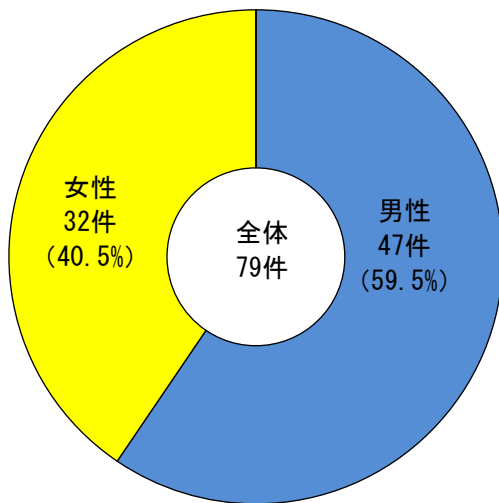
	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
相談件数	79	76	3	103.9%

過去5年間の多重債務に関する相談件数を見ると、令和5年度に増加に転じてから、引き続き増加傾向が続いています。

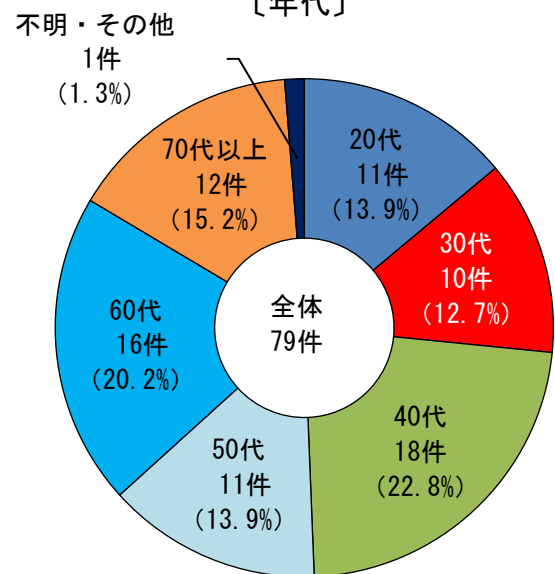
〔多重債務相談件数の推移〕

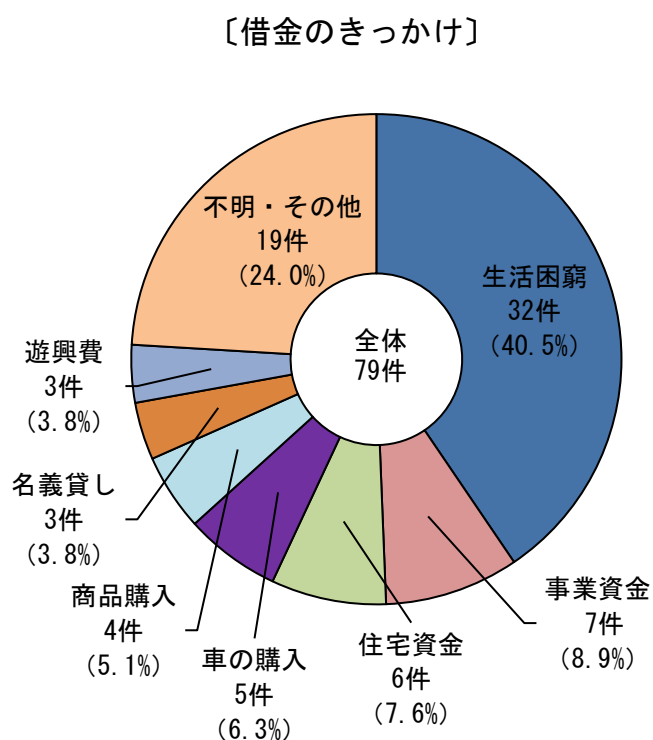
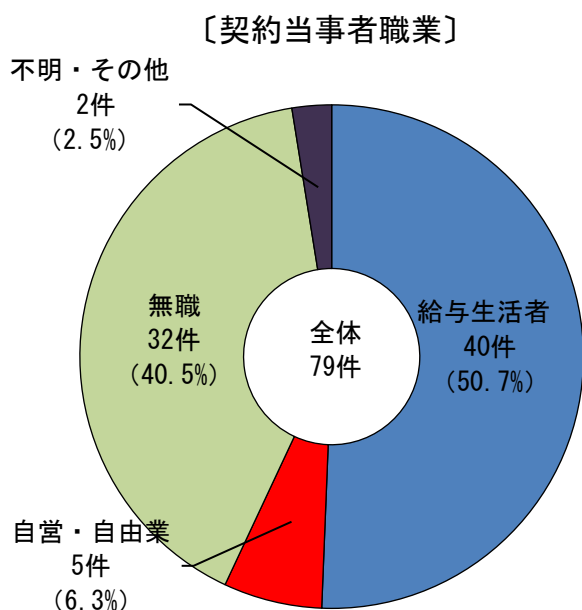


〔性別〕



〔年代〕





## 6 ヤミ金などの相談の受付状況

令和6年4-6月におけるヤミ金などに関する相談件数は7件で、前年同期より4件（133.3%）増加しています。

（単位：件）

	令和6年 4-6月 (a)	令和5年 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年同期比 (a/b)
ヤミ金	4	3	1	133.3%
融資保証金詐欺	3	0	3	-
借金整理屋	0	0	0	-
ショッピング枠現金化	0	0	0	-
計	7	3	4	233.3%



## 7 商品・役務別相談内訳

(単位：件)

		令和6年4-6月		令和5年 4-6月	増減
			構成比 (%)		
商 品	商品一般	299	14.5	292	7
	食料品	154	7.5	151	3
	住居品	64	3.1	49	15
	光熱水品	60	2.9	64	▲4
	被服品	69	3.4	96	▲27
	保健衛生品	183	8.9	187	▲4
	教養娯楽品	111	5.4	150	▲39
	車両・乗り物	65	3.2	59	6
	土地・建物・設備	28	1.4	50	▲22
	他の商品	6	0.3	7	▲1
	小計	1,039	50.6	1,105	▲66
役 務	クリーニング	5	0.3	12	▲7
	レンタル・リース・貸借	84	4.1	80	4
	工事・建築・加工	49	2.4	50	▲1
	修理・補修	15	0.7	28	▲13
	管理・保管	0	0.0	0	0
	役務一般	14	0.7	27	▲13
	金融・保険サービス	224	10.9	182	42
	運輸・通信サービス	173	8.4	186	▲13
	教育サービス	2	0.1	9	▲7
	教養・娯楽サービス	132	6.4	120	12
	保健・福祉サービス	70	3.4	70	0
	他の役務	136	6.6	155	▲19
	内職・副業・相場	25	1.2	12	13
	他の行政サービス	9	0.5	7	2
小計	938	45.7	938	0	
他の相談	76	3.7	79	▲3	
合計	2,053	100.0	2,122	▲69	

商品 主な 相談 の	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 商品一般（商品を特定できないもの）</li> <li>② 保健衛生品（化粧品、医薬品、医療用具）</li> <li>③ 食料品（健康食品、魚介類、飲料）</li> <li>④ 教養娯楽品（他の教養娯楽品、音響・映像製品、電話機・電話機用品）</li> <li>⑤ 被服品（紳士・婦人洋服、アクセサリ、他の身の回り品）</li> </ul>
役務 主な 相談 の	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 金融・保険サービス（融資サービス、他の金融関連サービス、預貯金・証券等）</li> <li>② 運輸・通信サービス（インターネット通信サービス、電報・固定電話）</li> <li>③ 他の役務（役務その他、外食・食事宅配、冠婚葬祭）</li> <li>④ 教養・娯楽サービス（他の教養・娯楽、娯楽等情報配信サービス、教室・講座）</li> <li>⑤ レンタル・リース・貸借（不動産貸借、レンタルサービス）</li> </ul>